

こんなときに活用されます

① 義足や人工関節をお使いの方



外見からは障がいがないため、公共交通の優先席に座っていると注意されたが、ヘルプマークを付けることで、周りの人に分かってもらえ、気分が楽になった。

② 聴覚に障がいがある方



お店で「耳が聞こえないので筆談をお願いします」と書かれたヘルプカードを見せると、すぐ分かってもらいありがたかった。

③ 発作で倒れた経験のある方



ヘルプカードに病気のことや緊急連絡先を書いていたため、発作で倒れた際に救急隊員がそれに気づき、一命を取り留めた。

④ 知的障がいがあるお子さん



駅で迷子になったときに、駅員さんがヘルプマークに気づいてくれて、声掛けしながら見守ってくれた。

ヘルプマークについて

ヘルプカード同様に、援助や配慮が必要なことを周囲の人に知らせるためのマークです。ストラップとして靴に下げるなどして利用できます。

東京都が最初に作成し、全国的に広がりを見せています。

ヘルプマーク・ヘルプカードの配布について

受取に来る方

- 利用者本人、その家族または支援者

配布場所

- 柴田町福祉課
- 槻木事務所



※ 郵送での配布は行っていません。

お問い合わせ先

柴田町福祉課 障害福祉班

☎ 0224-55-5010 FAX 0224-55-4172

✉ welfare@town.shibata.miyagi.jp

手助けが必要な人と手助けする人を結ぶ

ヘルプカード ヘルプマーク 知っていますか？



ヘルプマークで障がいがあることをヘルプカードで支援してもらいたい内容を周りの人に伝えます



ヘルプカードは どんなカード？

ヘルプカードは「手助けが必要な人」と「手助けする人」をつなぐものです。

障がいのある方などがまちに出たときに、予想もしていなかった場所で、思わぬ困り事が起こる事があります。そんなとき、周りの人に手助けしてほしいことを「うまく伝えられない」ということがあります。

そこで、お互いをつなぐのがこのヘルプカードの役割です。



こんな方が利用しています

- 目や耳、言語の障がいがある方
- 知的、精神、発達などの障がいがある方
- 内部障がいや難病の方
- 妊娠中の方
- 病気やけがで手助けや配慮が必要な方

ヘルプカードの中身

本人の名前や、何かあったときに連絡してほしい連絡先、対応についてのお願いなどが書いてあります。

= 記入例 =

■わたしの名前：	<small>なまえ (ふりがな)</small> 柴田 はなみ
■呼んでほしい人の名前：	<small>よ</small> <small>ひと</small> <small>なまえ (ふりがな)</small> 柴田 ゆず (母)
連絡先：	<small>れんらくさき</small> 090-0000-XXXX
■医療機関：	<small>いりょうきかん</small> ふなおかクリニック
連絡先：	<small>れんらくさき</small> 0224-△△-□□□□
【！大事なお知らせ！】	
わたしは <u>パニック</u> を起こす病気を持っています	
★配慮してほしいこと・お願いしたいこと 突然めまいがしたり、息が苦しくなることがあります。 そのときは柴田ゆず(母)に電話をかけてください。 人がたくさんいるところは苦手なので静かなところに連れて行ってください。	

理解して活用しよう！

ヘルプカードには、大切な個人情報が記入されます。持ち歩き方や記入する内容は、家族や支援者の方と十分に相談しましょう。メリット・デメリットをよく理解したうえで活用してください。

思いやりと優しい心遣いを

ヘルプマークを見かけたら、優しい心で支援をお願いします。

電車やバスの中では、
席をゆずってください



外見からは健康に見えても、疲れやすかったり、同じ姿勢を保つ事が難しかったりする方がいます。外見からは手助けが必要だと分からないため、優先席や専用席に座っていると、不振な目で見られたり嫌な言葉を掛けられたりすることがあります。

駅や商業施設で声を掛けるなどの
配慮をお願いします



交通機関の事故など、突然発生した事や急な状況の変化に対応する事が難しい方のほか、移動する際には、立ち上がる、歩く、階段を昇り降りするなどの動作が難しい方がいます。

災害時には、安全に避難するための
支援をお願いします



障がいなどがあることにより、災害の状況を理解する事が難しい方や自力での避難が難しい方がいます。